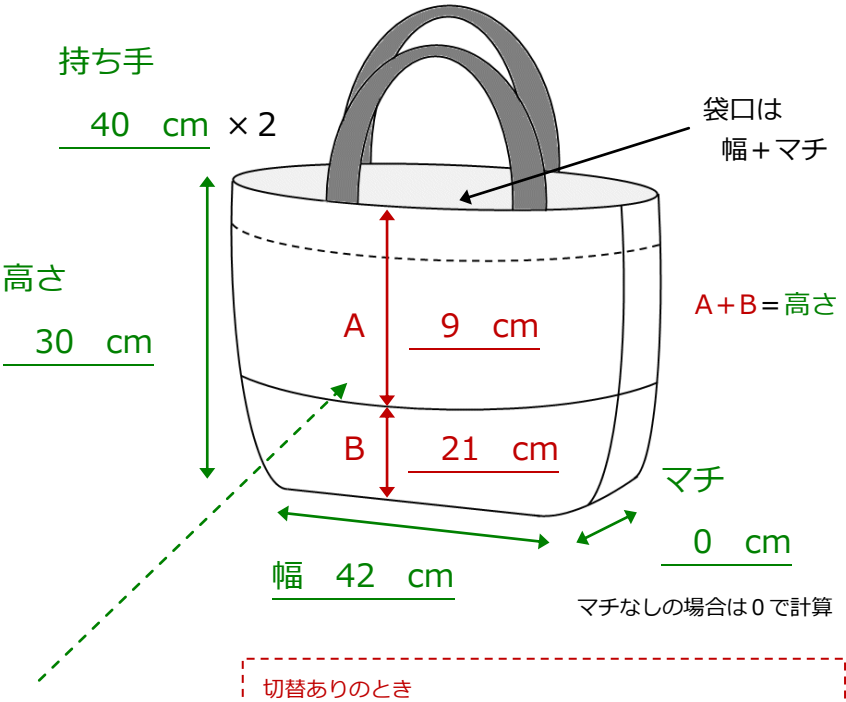
レッスンバッグ　　高さ 30 ㎝、幅 42 ㎝、ポケットなし

- レシピは、切替なしがマチなし、切替ありがマチありです。布をはぎ合わせ後は、マチなしのレシピを参照。
- 裏袋は基本の寸法で計算し、表袋は「布を切り替える際の布の配分」を使います。ポケットのサイズは自由です。

作例は A が 9 ㎝、B が 21 ㎝。計算シートの図は A が広くなっていますが、計算に問題ありません。B は柄に上下のない生地を使います。

作りたいバッグの寸法を記入



切替ありのとき

A と B を足した値が高さに等しくなるよう分配する。

基本の寸法 うら袋用

柄に向きがない布の計算　わにして裁つ　（裏袋はこの裁ち方を推奨）

- ここで計算した値が「基本の寸法」になります。布を縫い合わせる必要がある場合、布をはぎ合わせた後の縦の寸法は「基本の寸法」に等しくなります。横の寸法は共通です。
- 「わ」とは布を 2 つに折り畳んだ際の折山の部分です。布を中表に畳んだ状態で裁断します。

基本の寸法

幅　42 cm ＋ マチ　0 cm ＋ 縫代 3cm ＝ 横　45 cm

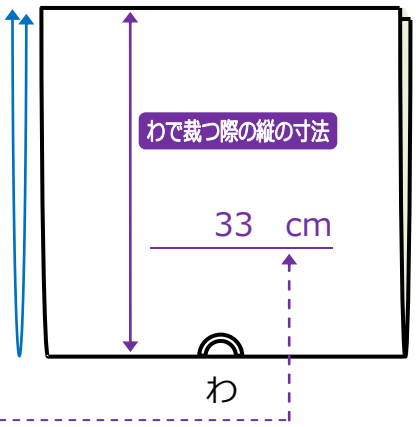
高さ 30 cm × 2

60 cm ＋ マチ 0 cm ＋ 縫代 6cm ＝ 縦　66 cm

基本の寸法

わにして裁った布を広げた時の縦の長さ

縦　66 cm ÷ 2 ＝ 縦　33 cm



持ち手　40 cm × 2 ＝ カバンテープ　80 cm

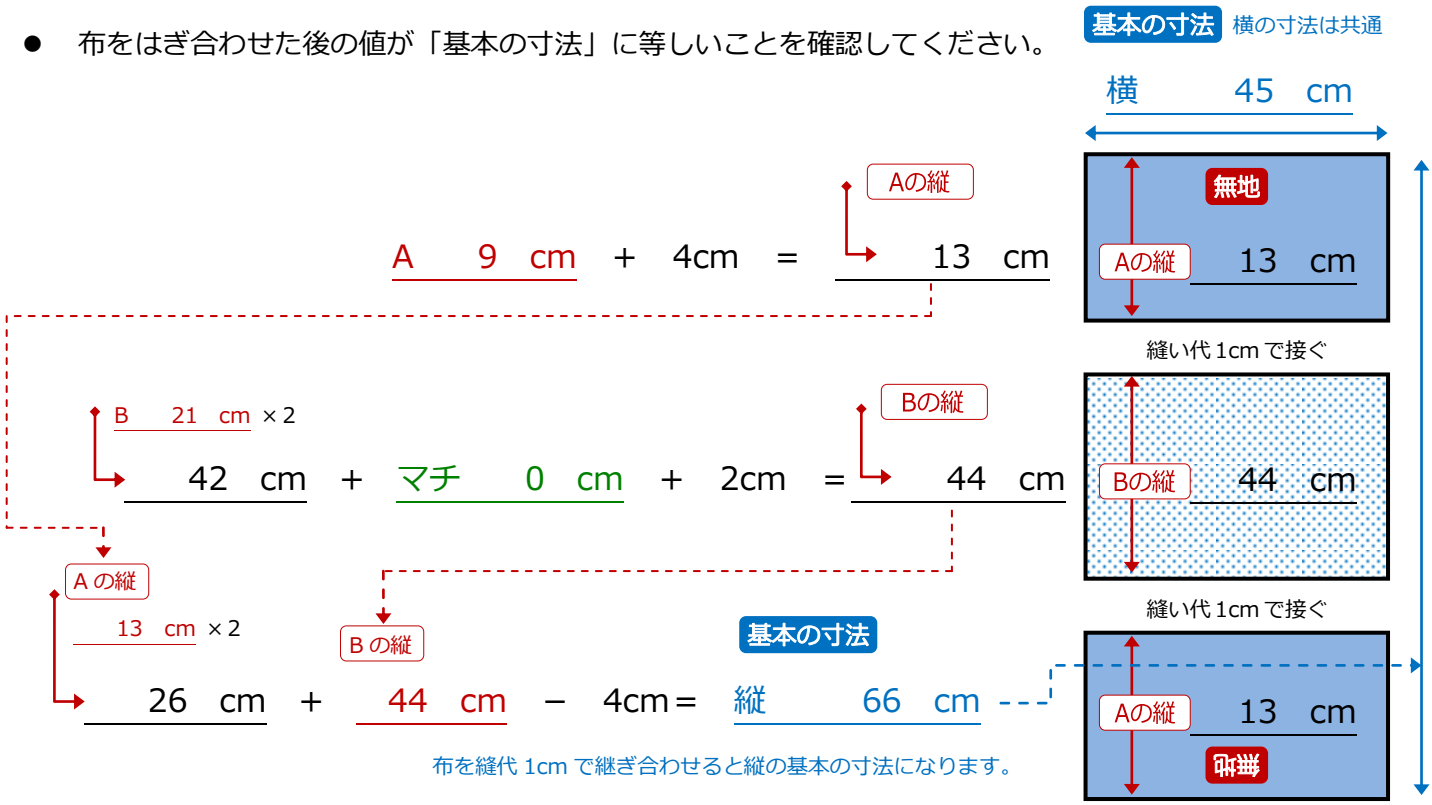
※作例の持ち手は 40cm です。持ち手を布で作る場合はサイト参照。

Copyright © NUNOTOIRO All Rights Reserved. 無断複製・転載は固くお断りいたします。

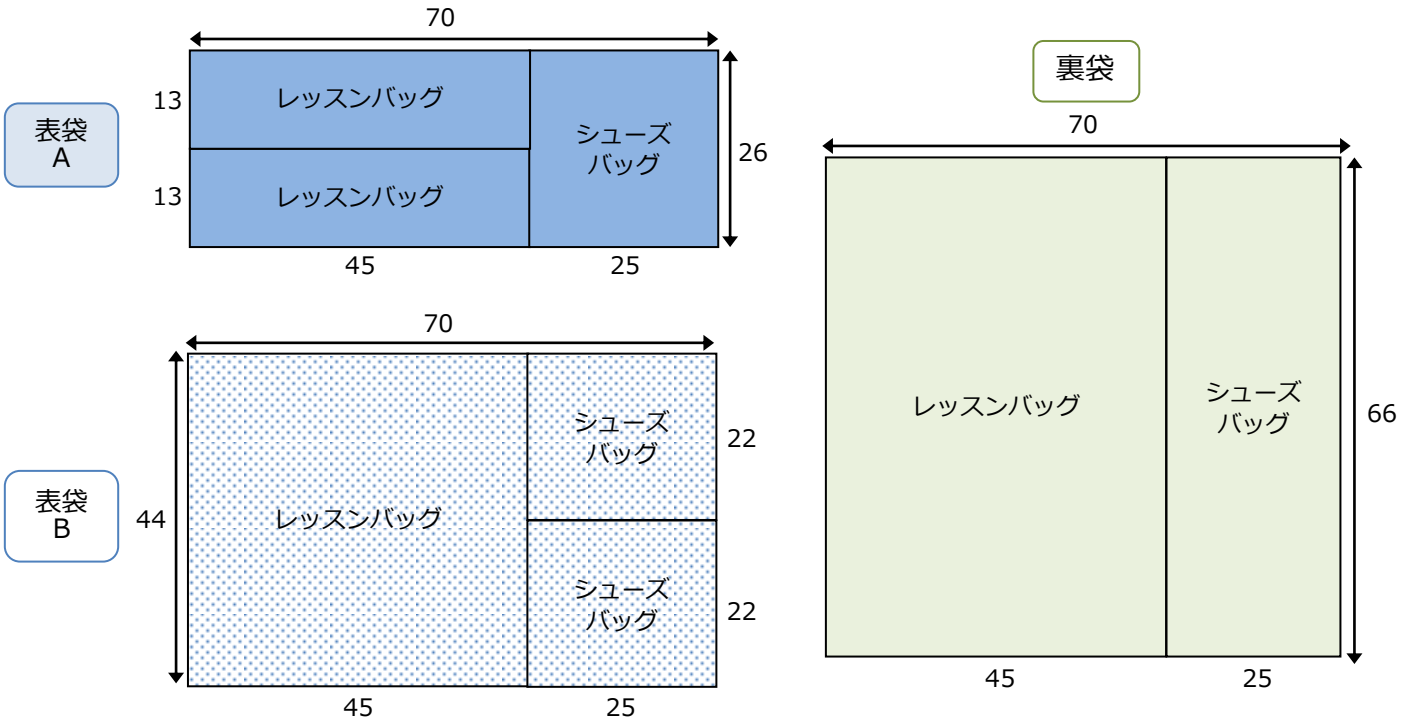
表袋用

布を切り替える際の布の配分

- それぞれの布を寸法どおりに裁断し、縫代 1cm で縫い合わせます。
  縫い代は布Ｂ側に倒し、Ｂの端から１～２ｍｍの位置に表からミシンで押さえのステッチを入れてください。
- ~~Ａの生地に柄がある場合、柄の向きに注意してください。(図参照)~~ → 無地
  Ｂには無地やチェックなど、柄に上下のない生地を選んでください。
- 布をはぎ合わせた後の値が「基本の寸法」に等しいことを確認してください。



布の裁断例　レッスンバッグとシューズバッグを同じ生地で作る場合



Copyright © NUNOTOIRO All Rights Reserved. 無断複製・転載は固くお断りいたします。